日韓プラットフォーム 2022 年 2 月 23 日 「佐渡鉱山のユネスコ世界遺産登録について」 飛田雄一 (ひだ ゆういち <u>hida@ksyc.jp</u>) 神戸学生青年センター理事長/強制動員真相究明ネットワーク共同代表

●はじめに

日本政府は佐渡鉱山(「佐渡島の金山」)をユネスコ世界遺産に登録申請するという。政府は、軍艦島等の明治産業革命遺産の登録に関してユネスコからの歴史の全体像を説明するようにという勧告に応えられていないと考えているのか、当初今年は申請しないとしていた。しかし安倍元首相らの動きを無視できず申請に踏み切るようだ。

佐渡鉱山については、江戸時代のことに限るとしたいようだ。しかし、軍艦島のときに1910年まで 時期に限ると申請したが、ユネスコからは歴史の全体像を示すように勧告されているのである。

- ●1 世界産業革命遺産(軍艦島等)のこと
- 1)「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録問題についての声明 2015 年 6 月 11 日 強制動員真相究明ネットワーク/朝鮮人強制労働被害者補償立法をめざす日韓共同行動 https://ksyc.jp/sinsou-net/20160619-2isannseimei-siryou.pdf
- 2) 真相究明ネットホームページ表紙より https://ksyc.jp/sinsou-net/

「強制動員真相究明ネットワークと韓国の民族問題研究所が共同で『「明治日本の産業革命遺産」と強制労働』(日韓市民による世界遺産ガイドブック)を発行しました。/ このガイドブックは 2015 年ユネスコ世界遺産委員会が日本政府に勧告した各遺産の「歴史」全体が理解できるものとして作成したものです。日本政府と企業が強制動員、強制労働問題を一日も早く解決することを求めるためのものでもあります。/ PDFファイルよりダウンロードしてください。日本語、英語、韓国語、英語版改訂版

日本語版、送料込み 500 円で販売します。事前に、郵便振替<00930-9-297182 真相究明ネット>に送金ください。10 冊以上購入の時は、400 円(送料真相究明 ネット負担)。事前送金同上





- 3) 映像「明治産業革命遺産の展示を問う!」ZOOM シンポジウム 2 0 2 1 年 5 月 2 2 日(土) https://www.youtube.com/watch?v=A12VkYqHR74
- 4) 20210714 ユネスコ勧告への日韓共同声明 https://ksyc.jp/sinsou-net/20210714sekaiisann-nikannkyoudouseimei.pdf

- 5) 真相究明ネットニュース 18号、産業遺産関連の記事あり https://ksyc.jp/sinsou-net/nwes018.pdf
- 2 以下、真相究明ネット緊急声明をもとに飛田が補足的にレポート 飛田説明/強調部分は、ゴジック体/赤字で書きます。

強制動員真相究明ネットワークの緊急声明「日本政府は戦時の朝鮮人強制労働を否定するのではなく認知すべきである - 佐渡鉱山(「佐渡島の金山」)世界遺産登録問題によせて - 」

佐渡鉱山(「佐渡島の金山」)のユネスコ世界遺産登録に関し、日本政府は2022年1月21日の記者会見で、「佐渡の金山に関する韓国側の独自の主張につきましては日本側として全く受け入れられない」(木原官房副長官)と述べ、昨年末、韓国外交部に抗議したことを明らかにしました。日本政府は公式に韓国側の戦時の朝鮮人強制労働に関する主張を否定したのです。

2021年、日本政府は明治産業革命遺産での産業遺産情報センターの展示に関し、ユネスコから歴史全体を示し、強制労働についても解説するように求められましたが、改めてはいません。また、菅内閣は朝鮮人の強制連行や強制労働の用語を「適切ではない」と閣議決定し、今後使用する教科書から「強制連行」の用語を削除させました。

しかし、日本による総力戦体制の下、戦時の労務動員政策によって朝鮮半島から日本へと約80万人が強制的に動員されたことは歴史の事実です。佐渡鉱山が強制労働の現場だったという韓国側の主張は事実です。それを「独自の主張」として「受け入れられない」とする姿勢は、強制労働の歴史を否定するものです。日本政府は歴史を否定せず、この機会に強制労働の事実を認めるべきです。韓国側の批判を問題とするような対応は、間違いです。

『新潟県史 通史編8近代3』(1988年)には、「強制連行された朝鮮人」の項があり、「昭和14年(1939年)に始まった労務動員計画は、名称こそ「募集」、「官斡旋」、「徴用」と変化するものの、朝鮮人を強制的に連行した事実においては同質であった」と指摘しています。

新潟県史の記述は、以下のとおり。

「昭和十八年(1943年)六月東京鉱山監督局東京地方鉱山部会は、佐渡鉱山を会場に朝鮮人労務管理研究協議会を間催した。その要綱に盛られた佐渡鉱業所の報告は、移入者総計一〇〇五名、死者一〇人、公私傷送還三六人、不良送還二五人、逃走一四八人などで現在員数五八四人にすぎなかった。」

その「報告」は、「佐渡鉱業所 半島労務管理二付テ」のことで、長澤秀編/解説『戦時下朝鮮人中国 人連合軍捕虜強制連行資料集(石炭統制会極秘文書)』(緑蔭書房、1992年6月)に収録されている。 また、『在日朝鮮人史研究』12号(1983年9月)では、長澤氏によって翻刻されて紹介されている。 逃走者が148名(14.7%)もいることは労働の過酷さをしめしていると言える。

緑蔭書房刊資料集の関連部分は以下のとおり(原本だから、迫力ある?)

				ji.				
計	- -	六	六	五	五	五	年	移
E)	- 114T	0	六	=	五	=	月	入
	"	"	ii	11	"	源 集	斡旋ハ	募集
	青	論青	燕扶論	扶論	公扶論	1000		出身
	陽	山陽	岐余山	余山	州余山	山南	別道	
(100, 00) 1005	79	127	153	300	248	98	移入數	
	2"	2"	2"	3"	3"	3年	期電間備	
(0.99	1	.2,	3		3	1	死亡	
(14.73 14-8	6	12.	19	51	46	14	逃走	減
(0.59	-	1	2	1.		2	送 份	
(2.99	2		4	6	10	8	送 私 虚	
(2.45)	1	3	3	12	6	送不良	員
(7.16	1	5	5	3/	29	2	時島維	
(12.9)	1	a a	24	174	3/	/	博出	数
(41.8.	9)	2/	60	166	13/	34		
(58.11)			134		64	現在	
X			濟		濟	濟	濟 等繼 晋 續 部	

移 入 数 及 减 具

敷

五 月 末

H 現 在

— 155 —

この新潟県史の記述を受け、新潟県相川町(現、佐渡市)の『佐渡相川の歴史 通史編近・現代』(1995年)は、朝鮮人動員の具体的な状況をあげ、「佐渡鉱山の異常な朝鮮人連行」について記しています。佐渡鉱山への朝鮮人強制連行は自治体も認知してきた歴史事実です。佐渡では 1992 年に強制連行被害者を招請した証言集会も開催されています。

動員された朝鮮人は相愛寮に収容されましたが、その「煙草配給台帳」や他の動員関係資料から強制動員された 500 人以上の朝鮮人名簿を作成できます。佐渡鉱山への朝鮮人動員数は 1500 人を超えるものとみられます。1945 年になって佐渡鉱山に徴用で動員された慶尚北道蔚珍郡 100 人の名簿も残っています。現場から逃亡すれば、労務調整令違反で検挙され、犯罪とされました。8・15 解放後の朝鮮人 1140人分の未払金 231,059 円の供託史料も残っています。三菱鉱業佐渡鉱業所の史料や特高警察の史料などからも、強制連行・強制労働は歴史の事実です。

戦後、80年を迎えようとするのに、自治体史にも明記されている朝鮮人強制労働の事実を日本政府は認定しないのです。その姿勢に問題の根源があります。韓国が悪いのではなく、歴史事実を否定して恥じない日本政府に問題があるのです。

ユネスコの「人類の知的・精神的連帯に寄与し、平和と人権を尊重する普遍的な精神をつくる」という理念の下に、ユネスコの世界遺産があります。その産業遺産は「ニジニータギル憲章」(国際産業遺産保全委員会 TICCIH、2003 年)、「産業遺産を継承する場所、構造物、地域および景観の保全に関するICOMOS-TICCIH 共同原則」(2010 年)をふまえたものでなければなりません。その遺産の解説では、「文化遺産の解説とプレゼンテーションは、より広い社会的、文化的、歴史的、自然的な文脈と背景に関連させなければならない」(「文化遺産の解説及び展示に関するイコモス憲章」2008 年)という原則に依らなければならないのです。世界遺産とは、特定の時期を取り上げて国家主義的に宣揚する、あるいは観光利益を求めるものではなく、強制労働などの負の歴史を含めた歴史全体を示し、人類の教訓とするものなのです。

ユネスコやイコモスが掲げる原則や憲章に依るならば、世界遺産登録にあたっては「歴史全体」が示されなければならないのです。日本政府が強制動員の歴史を否定したまま登録を推進するならば、これまで鉱山の歴史的価値を広めようと登録を推進してきた関係者や強制連行の歴史の事実に向き合って取り組んできた人々と連行被害者の尊厳を踏みにじることにもなります。

当ネットワークは、佐渡鉱山(「佐渡島の金山」)の世界遺産登録問題に際し、日本政府が戦時の朝鮮人強制労働を否定するのではなく、認知することを求めます。



●3 おわりに・・・・

- 1)強制動員真相究明ネットワーク「強制動員 ZOOM 特別講座」日時 2022 年 2 月 27 日(日)午後7時~9時/テーマ「佐渡鉱山での朝鮮人強制労働一強制労働否定論批判」/講師 竹内康人さん (歴史研究者) チラシ https://ksyc.jp/sinsou-net/20220227sado-takeuchi.pdf
- 2) 日帝強制動員被害者支援財団発行、翻訳叢書⑩報告書『日本地域の炭鉱鉱山における朝鮮人強制動員の実態-三菱鉱業(株)佐渡鉱山を中心に』B5 180 頁 2021.12 (韓国語版 2019 年)

日帝強制動員被害者支援財団の日本語ホームページ https://fomo.or.kr/jpn

真相究明ネットで翻訳カンパ500円で配布。上記ホームページよりPDFファイルをダウンロード可能です。

真相究明ネット翻訳委員会による出版等の一覧表等は、

https://ksyc.jp/sinsou-net/kankoku-book.pdf

3) 真相究明ネットの会員メーリングリストは、情報豊富です。会員になってご参加ください。 https://ksyc.jp/sinsou-net/yobikake.htm

(神戸学生青年センターは 2021 年 5 月に移転しました。移転先は、〒657-0051 神戸市灘区八幡町 4-9-22 TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878。よろしくお願いします。有名な?六甲奨学基金古本市は、年中開催となりました。2022 の売り上げ目標は 4 0 0 万円??

https://ksyc.jp/category/scholarship/book-recycle/ 飛田雄一 hida@ksyc.jp)